

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 株式会社 アプラス

上場取引所 大

コード番号 8589 URL <http://www.aplus.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 常峰 仁

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 野口 郷司

TEL 03-5229-3986

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	21,925	△11.4	893	△53.3	880	△53.8	841	△29.7
21年3月期第1四半期	24,756	—	1,911	—	1,905	—	1,196	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	3.57	0.20
21年3月期第1四半期	5.07	0.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,351,768	105,349	7.8	△971.10
21年3月期	1,373,752	108,215	7.9	△973.76

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 105,282百万円 21年3月期 108,155百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注) 当社は定款において第2四半期末および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	44,000	△10.6	2,000	△52.1	2,000	△52.3	2,000	△30.1	8.48
連結累計期間	91,000	△4.6	7,000	293.4	7,000	310.1	7,000	357.5	29.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 235,931,829株 | 21年3月期 | 235,931,829株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 62,762株 | 21年3月期 | 61,705株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 235,869,491株 | 21年3月期第1四半期 | 235,880,047株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当社は平成8年3月期より普通株式に係る配当を実施しておりません。現時点では配当を行うかどうかについては未定であります。

5. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第一回B種優先株式					
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	未定	—	未定	未定
第一回C種優先株式					
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	未定	—	未定	未定
D種優先株式					
21年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	未定	—	未定	未定
E種優先株式					
21年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	未定	—	未定	未定
F種優先株式					
21年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	未定	—	未定	未定
G種優先株式					
21年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	未定	—	未定	未定
H種優先株式					
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	未定	—	未定	未定

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機により景気低迷が続く中、経済対策の効果による個人消費の下げ止まりや、在庫調整の進展による生産持ち直しなど、一部に市場心理の改善が見られ、金融市場は落ち着きを取り戻しつつありましたが、設備投資の減少や失業率の増加が続くなど、本格的な景気回復には、なお時間を要する状況で推移してまいりました。

当業界におきましては、改正貸金業法の段階施行や、改正特定商取引法および改正割賦販売法の施行を控える等、経営環境が大きく変化し、消費者信用マーケットの収縮傾向が続く中、グリーン金利にかかる利息返還請求は引き続き高水準で推移するなど、非常に厳しい状況に置かれました。

このような中、当社グループは「今までにない全く新しいタイプの信販会社になる」という戦略ビジョンを早期に実現するため、新生銀行グループの持つ低コストで安全性・柔軟性の高い先進的なテクノロジーを利用したインフラ整備を急ぎ、お客さまや加盟店のニーズに迅速に対応する体制作りにも進める一方、信販会社の社会的責任として、業法改正への適切な対応や、加盟店を通じた円滑な信用供与に努めてまいりました。

また、平成21年5月13日に『事業持株会社体制への移行に関するお知らせ』にて公表しましたとおり、平成22年4月1日(予定)を効力発生日として、当社グループは会社分割(吸収分割の方式)による事業持株会社体制への移行を予定しております。これにより、予想以上の速さで変化する経営環境の中、経営機能を一段と強化し、柔軟かつスピーディに環境変化に対応できる体制を確立し、当社グループ全体の企業価値向上を目指してまいります。

当第1四半期連結会計期間における具体的な取組みとしては、カード・ショッピングクレジット事業における既存商品の収益性改善を図るため、カード年会費制度の導入や各種手数料の見直し、商品内容や信用状況に応じた価格設定の見直しなどを実施してまいりました。また、営業活動の高度化・効率化を図り、新しい営業スタイルを構築することを目的に、加盟店への営業活動(BtoB)の促進に特化した部署として、平成21年4月、「ビジネスプロモーションセンター」を設置いたしました。また、マーケティング戦略の改善として、当社が発行するローンカード「アプラスα倶楽部カード」の専用Webページの開設や、当社のインターンシッププログラムに参加した現役大学生の意見を取り入れた「現役大学生との共同企画キャンペーン」の実施など、様々な活動に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における経営成績は、個人消費の低迷などを背景に営業収益は219億2500万円(前第1四半期連結会計期間比11.4%減)となりましたが、経費削減・クレジットコストの削減に継続的に取り組み、営業費用は210億3200万円(同7.9%減)となりました。これにより、営業利益は8億9300万円(同53.3%減)、経常利益8億8000万円(同53.8%減)、四半期純利益8億4100万円(同29.7%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、割賦売掛金および信用保証割賦売掛金の減少などにより、前連結会計年度末比219億8300万円減少し、1兆3,517億6800万円となりました。負債につきましては、借入金および信用保証買掛金の減少などにより、前連結会計年度末比191億1700万円減少し、1兆2,464億1900万円となりました。純資産につきましては、配当金の支払などにより、前連結会計年度末比28億6500万円減少の1,053億4900万円となり、自己資本比率は7.8%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において、平成21年5月13日の公表数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	198,400	203,691
割賦売掛金	※1・2 425,410	※1・2 428,407
信用保証割賦売掛金	619,539	628,465
有価証券	※3 6,151	※3 7,645
その他	107,019	109,361
貸倒引当金	△41,258	△42,446
流動資産合計	1,315,262	1,335,124
固定資産		
有形固定資産	※4 9,970	※4 10,340
無形固定資産		
のれん	5,676	5,886
その他	10,801	10,384
無形固定資産合計	16,477	16,270
投資その他の資産	10,040	11,994
固定資産合計	36,487	38,605
繰延資産	18	23
資産合計	1,351,768	1,373,752
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,866	20,191
信用保証買掛金	619,539	628,465
短期借入金	287,180	293,707
未払法人税等	107	264
賞与引当金	447	733
ポイント引当金	1,032	1,146
その他	※5 256,248	※5 234,629
流動負債合計	1,183,421	1,179,137
固定負債		
社債	—	16,600
長期借入金	47,442	52,021
退職給付引当金	792	749
役員退職慰労引当金	109	99
利息返還損失引当金	9,483	11,009
その他	5,170	5,920
固定負債合計	62,997	86,400
負債合計	1,246,419	1,265,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,250	47,250
資本剰余金	50,831	54,666
利益剰余金	7,171	6,330
自己株式	△17	△17
株主資本合計	105,235	108,229
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47	△73
評価・換算差額等合計	47	△73
少数株主持分	67	60
純資産合計	105,349	108,215
負債純資産合計	1,351,768	1,373,752

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業収益		
総合あっせん収益	2,626	2,666
個品あっせん収益	3,175	2,828
信用保証収益	4,656	4,193
融資収益	11,406	9,692
金融収益	653	516
その他の営業収益	2,238	2,028
営業収益合計	24,756	21,925
営業費用		
販売費及び一般管理費	※1 21,066	※1 19,389
金融費用	1,777	1,643
営業費用合計	22,844	21,032
営業利益	1,911	893
営業外収益		
投資有価証券売却益	4	—
雑収入	18	14
営業外収益合計	23	14
営業外費用		
投資有価証券評価損	17	—
社債発行費償却	7	5
固定資産除却損	—	7
雑損失	3	14
営業外費用合計	29	26
経常利益	1,905	880
特別損失		
過年度報奨金等	※2 708	—
特別損失合計	708	—
税金等調整前四半期純利益	1,197	880
法人税、住民税及び事業税	△5	33
法人税等合計	△5	33
少数株主利益	6	5
四半期純利益	1,196	841

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,197	880
減価償却費	932	825
のれん償却額	210	210
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,027	△1,188
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△1,036	△1,525
受取利息及び受取配当金	△625	△516
支払利息	1,777	1,166
売上債権の増減額(△は増加)	1,063	4,881
仕入債務の増減額(△は減少)	1,454	3,379
その他	△886	△1,591
小計	2,059	6,522
利息及び配当金の受取額	625	516
利息の支払額	△1,316	△926
法人税等の支払額	△105	△101
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,263	6,010
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△91	△79
無形固定資産の取得による支出	△531	△973
その他	159	2,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△463	1,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,000	△2,500
短期社債の純増減額(△は減少)	3,700	4,000
リース債務の返済による支出	△823	△835
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△7,969	△8,606
自己株式の取得による支出	—	△1,290
配当金の支払額	△1,960	△3,835
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,552	△13,066
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,752	△5,905
現金及び現金同等物の期首残高	211,438	218,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	200,686	212,195

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
※1. 部門別割賦売掛金 (単位:百万円)		※1. 部門別割賦売掛金 (単位:百万円)	
部門	金額	部門	金額
総合あっせん	50,167	総合あっせん	50,044
個品あっせん	161,247	個品あっせん	157,766
融資	213,986	融資	220,587
その他	10	その他	8
計	425,410	計	428,407
※2. 割賦売掛金を流動化した残高 個品あっせん債権 43,534百万円 融資債権 458		※2. 割賦売掛金を流動化した残高 個品あっせん債権 51,259百万円 融資債権 1,240	
※3. 有価証券 信用保証業務の一環として保有している信託受益権であります。		※3. 有価証券 同左	
※4. 有形固定資産の減価償却累計額 4,105百万円		※4. 有形固定資産の減価償却累計額 3,927百万円	
※5. 流動負債「その他」の主な内訳 預り金 96,134百万円 債権流動化預り金 88,666 割賦利益繰延 33,129		※5. 流動負債「その他」の主な内訳 預り金 94,740百万円 債権流動化預り金 86,646 割賦利益繰延 34,414	
6. 偶発債務 (1) 保証債務残高のうち債権、債務とみなされない残高 33,966百万円 (2) 従業員借入金保証残高 259百万円		6. 偶発債務 (1) 保証債務残高のうち債権、債務とみなされない残高 35,073百万円 (2) 従業員借入金保証残高 265百万円	
7. ローンカードおよびクレジットカードに附帯するカードキャッシングにおける貸出未実行残高 1,659,590百万円 なお、貸出未実行残高は、顧客の信用状態等により当社グループが任意に利用を停止できるものであり、貸出未実行残高そのものが必ずしも当社グループの将来のキャッシュ・フローに重要な影響を与えるものではありません。		7. ローンカードおよびクレジットカードに附帯するカードキャッシングにおける貸出未実行残高 1,704,889百万円 なお、貸出未実行残高は、顧客の信用状態等により当社グループが任意に利用を停止できるものであり、貸出未実行残高そのものが必ずしも当社グループの将来のキャッシュ・フローに重要な影響を与えるものではありません。	

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)																												
<p>※1. 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>7,338百万円</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td>4,748</td> </tr> <tr> <td>利息返還損失引当金繰入額</td> <td>604</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td>232</td> </tr> </table>	貸倒引当金繰入額	7,338百万円	支払手数料	4,748	利息返還損失引当金繰入額	604	賞与引当金繰入額	470	ポイント引当金繰入額	232	<p>※1. 販売費及び一般管理費の主な内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>6,230百万円</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td>4,400</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td>289</td> </tr> </table>	貸倒引当金繰入額	6,230百万円	支払手数料	4,400	賞与引当金繰入額	443	ポイント引当金繰入額	289										
貸倒引当金繰入額	7,338百万円																												
支払手数料	4,748																												
利息返還損失引当金繰入額	604																												
賞与引当金繰入額	470																												
ポイント引当金繰入額	232																												
貸倒引当金繰入額	6,230百万円																												
支払手数料	4,400																												
賞与引当金繰入額	443																												
ポイント引当金繰入額	289																												
<p>※2. 過年度報奨金等</p> <p>業務提携取引に関連し、クレジットカード提携先から報奨金等の支払額に関して提起された民事訴訟において、平成20年7月30日に和解が成立したことにより生じたものであります。</p>	<p>—————</p>																												
<p>3. 部門別取扱高</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合あっせん</td> <td>116,136 (115,944)</td> </tr> <tr> <td>個品あっせん</td> <td>24,026 (22,002)</td> </tr> <tr> <td>信用保証</td> <td>84,581 (79,771)</td> </tr> <tr> <td>融資</td> <td>32,641 (32,641)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>332,167</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>589,553</td> </tr> </tbody> </table>	部門	金額	総合あっせん	116,136 (115,944)	個品あっせん	24,026 (22,002)	信用保証	84,581 (79,771)	融資	32,641 (32,641)	その他	332,167	計	589,553	<p>2. 部門別取扱高</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合あっせん</td> <td>117,503 (117,309)</td> </tr> <tr> <td>個品あっせん</td> <td>23,410 (21,035)</td> </tr> <tr> <td>信用保証</td> <td>70,820 (66,869)</td> </tr> <tr> <td>融資</td> <td>27,389 (27,389)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>323,943</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>563,066</td> </tr> </tbody> </table>	部門	金額	総合あっせん	117,503 (117,309)	個品あっせん	23,410 (21,035)	信用保証	70,820 (66,869)	融資	27,389 (27,389)	その他	323,943	計	563,066
部門	金額																												
総合あっせん	116,136 (115,944)																												
個品あっせん	24,026 (22,002)																												
信用保証	84,581 (79,771)																												
融資	32,641 (32,641)																												
その他	332,167																												
計	589,553																												
部門	金額																												
総合あっせん	117,503 (117,309)																												
個品あっせん	23,410 (21,035)																												
信用保証	70,820 (66,869)																												
融資	27,389 (27,389)																												
その他	323,943																												
計	563,066																												
(注) ()内の金額は、元本取扱高であります。	(注) ()内の金額は、元本取扱高であります。																												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)																				
<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>137,637 百万円</td> </tr> <tr> <td>流動資産のその他に含まれる現金 同等物</td> <td>63,108</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>200,746</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヵ月を超える定期預 金</td> <td>△60</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物の期末残高</td> <td>200,686</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	137,637 百万円	流動資産のその他に含まれる現金 同等物	63,108	計	200,746	預入期間が3ヵ月を超える定期預 金	△60	現金及び現金同等物の期末残高	200,686	<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>198,400 百万円</td> </tr> <tr> <td>流動資産のその他に含まれる現金 同等物</td> <td>13,854</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>212,255</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヵ月を超える定期預 金</td> <td>△60</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物の期末残高</td> <td>212,195</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	198,400 百万円	流動資産のその他に含まれる現金 同等物	13,854	計	212,255	預入期間が3ヵ月を超える定期預 金	△60	現金及び現金同等物の期末残高	212,195
現金及び預金勘定	137,637 百万円																				
流動資産のその他に含まれる現金 同等物	63,108																				
計	200,746																				
預入期間が3ヵ月を超える定期預 金	△60																				
現金及び現金同等物の期末残高	200,686																				
現金及び預金勘定	198,400 百万円																				
流動資産のその他に含まれる現金 同等物	13,854																				
計	212,255																				
預入期間が3ヵ月を超える定期預 金	△60																				
現金及び現金同等物の期末残高	212,195																				

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。